

SSH活動報告

第2回運営指導委員会(3月7日)を開催

「世界一受けたい授業」でもおなじみの滝川洋二先生((特非)ガリレオ工房理事長)ら4名の有識者をお招きして、本校におけるSSH活動に対する指導・助言をいただきました。



国語科主任 野口 大輔

私からは、議題として「普通クラスにおける探究活動の推進」を提案させていただきました。これまでの成果をどのように評価すればいいのか、また今後どのような方針で講座を実施すべきか、ということについて専門家のご意見を伺いたかったからです。

探究活動は、様々な教科の教員が連携しながら学習を深化させていくという、これまでの授業とは著しく性質の異なる講座です。導入から1年が経過した今でも、試行錯誤を続けながら手探りでこなしている状態です。しかし、現代社会ではグローバル化の進展に伴い、多様な人々と仕事をしていく「協働・共創」という概念が重視されるようになってきました。私たち教員も教科の枠にとられずに、チームで生徒の成長を見取っていかねばならないと強く感じました。

年度末のお忙しい中、本校にお越しいただいた諸先生方に改めまして厚く御礼申し上げます。

幹事校として関東近県SSH校合同発表会(3月21日/高輪キャンパス)を企画・運営

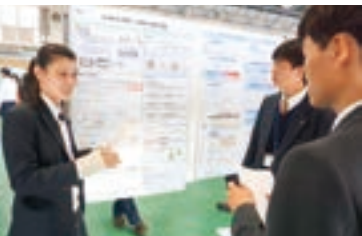
関東地区のSSH指定18校が一堂に会し、14件の口頭発表と429件のポスター発表を行いました。本校からはSSHクラス2年生(当時)全員が課題実験に関する発表を行ったほか、普通クラス2名が探究活動Ⅰの成果を披露しました。



3年3組 大倉 拓翔

今回、私はこの発表会に普通クラスの代表として出させていただきます。先生の方からこの話を持ち出されたときは、学校の代表としての発表は初めてのことなのでとても驚きました。最初はしっかりと発表することができるか心配でしたが、発表のポスターを制作するときにはいただいた先生方の手厚いサポートとアドバイス、そしてテーマを決めてから当日の発表まで時間を惜しまず協力してくれた学友たちのおかげで、自信を持って発表を終えることができました。本当にありがとうございました。

4月から私は3年生になりました。今回の合同発表会を含めた1年間の探究活動で学んだ人に物事を伝えるときの言葉選びの重要性、そして友達と協力して1つのことに一生懸命に取り組むことの大切さを、3学年での探究活動に生かしていきたいと思えます。



参加校名	発表数
埼玉県立浦和第一女子(さいたま市)	11件
埼玉県立川越女子(川越市)	13件
千葉県立柏(柏市)	7件
市川(市川市)	15件
芝浦工業大学柏(柏市)	42件
東京学芸大学附属(世田谷区)	33件
東京学芸大学附属国際(練馬区)	8件
東京都立大泉(練馬区)	1件
東京都立科学技術(江東区)	32件
東京都立立川(立川市)	1件
東京都立多摩科学技術(小金井市)	60件
東京都立戸山(新宿区)	58件
玉川学園(町田市)	61件
中央大学附属(小金井市)	10件
文京学院大学女子(文京区)	23件
横浜市立横浜サイエンスフロンティア	23件
新潟県立新発田(新発田市)	2件
東海大学付属高輪台	30件



SSH活動速報

4月 8日	高校現代文明論	ガイダンス、現代文明観に関するアンケートの実施
4月 12日	アカデミックプレゼンテーションⅡ	Overview and introduction to sharing opinions
4月 12日~	アカデミックプレゼンテーションⅠ	ガイダンスの実施
4月 12日	公共科学論	ガイダンス、科学観・公共観に関するアンケートの実施
4月 13日	サイエンス基礎	ガイダンスの実施
4月 15日~	公共科学演習	科学・公共に関するグループリサーチの開始(全15回)
4月 16日	高校現代文明論	校長講話「明日へのメッセージ」の実施
4月 16日~	課題研究	個人・グループ研究の開始(全18回)
4月 17日	探究活動Ⅰ	ガイダンスの実施
4月 17日	探究活動Ⅱ	ガイダンスの実施
4月 19日	アカデミックプレゼンテーションⅡ	Sharing opinions, emphasis, and agreeing and disagreeing
4月 19日~	アカデミックプレゼンテーションⅠ	CLIL(内容言語統合型学習)による生物に関する英語発表準備の開始(全3回)
4月 19日~	公共科学論	外国語(英語)科教員によるユニット授業「科学と言語と公共」の開始(全3回)
4月 20日	サイエンス基礎	井上徳之先生(中部大学)による科学プレゼンテーションに関する講義
4月 22日~	課題実験	研究内容に関する面接の開始(全2回)
4月 23日~	高校現代文明論	映像教材「名利なき証言」を活用した科学観の涵養(全2回)
4月 25日~	探究活動Ⅰ	ブレ探究活動の開始(全3×3回)
4月 25日~	探究活動Ⅱ	探究活動の開始(全5回)
4月 26日	アカデミックプレゼンテーションⅡ	Giving reasons, agree/disagree with others, and making groups
4月 27日	サイエンス基礎	日本科学未来館でのワークシート活動